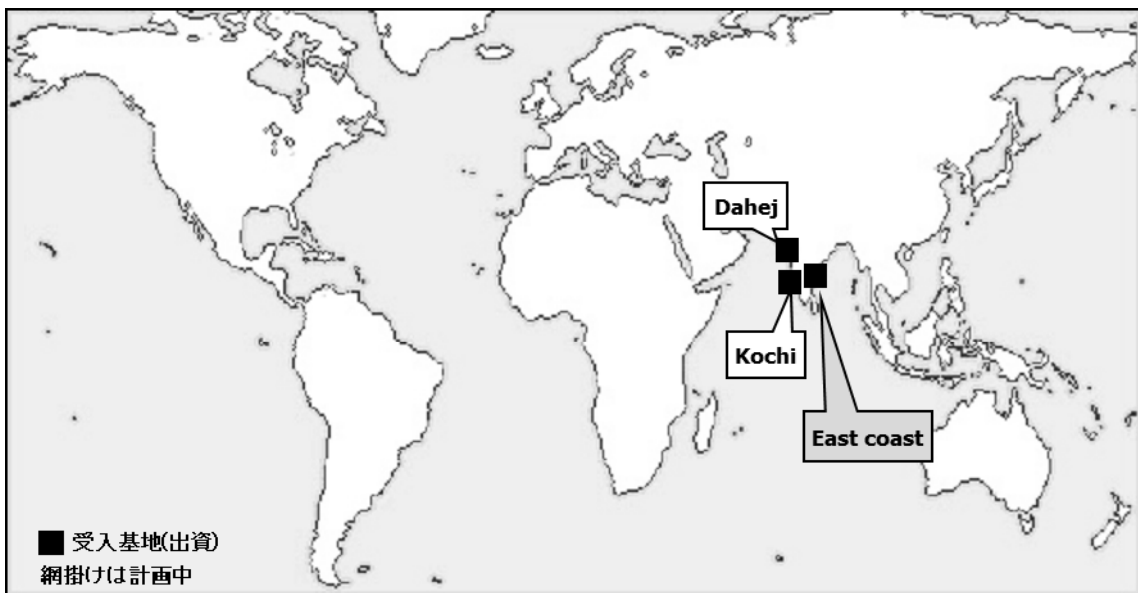


29. Petronet LNG

(1) 企業概要

Petronet LNG (PLL)は、LNG 受入基地の建設と LNG の輸入事業を目的として、インドの国営企業を中心となって 1998 年に設立されたインド最大の LNG 輸入会社である。国営企業の GAIL、ONGC (Oil & Natural Gas Corporation Ltd.)、IOCL (Indian Oil Corporation Ltd.)、BPCL (Bharat Petroleum Corporation Ltd.) がそれぞれ 12.5%の株式を保有しており、残りの 50%の株式は金融機関や海外機関投資家が所有している。

Petronet LNG の LNG 受入基地図



(2) LNG 関連

PLL が操業する Gujarat 州の Dahej 基地はインド最大の LNG 受入基地である。これまでに 3 度の拡張工事が行われ、2019 年 6 月、3 度目の拡張工事が完了したことで、受入能力が 1,500 万トンから 1,750 万トンに拡大した。

2019 年 2 月、PLL は米国の大規模 LNG プロジェクト、Driftwood LNG プロジェクトへの出資と同時に年間最大 500 万トンの購入を検討する覚書 (MOU) を Tellurian と締結し、2020 年 3 月末までに本協定を締結することを想定していた。しかし、2020 年 2 月に Tellurian より 2020 年 5 月末まで本協定の締結期限が延長されることが発表されたが、その後、さらに同年 12 月末まで再延長された。

なお、2013 年 4 月に PLL は米国の Main Pass Energy Hub LNG プロジェクトから LNG 供給を受ける条件付き合意を締結していたが、同プロジェクトは LNG 生産を開始しておらず、LNG 供給の見通しは立っていない。

Petronet LNG の LNG 契約

輸出国	プロジェクト	契約期間 (契約年数)	契約数量 (万トン/年)	受渡条件
カタール	RasGas II (Train 3-5)	2004～2028年 (24年)	750	FOB
オーストラリア	Gorgon LNG	2016～2036年 (20年)	144	FOB
		2016～2031年 (15年)	120	DES
アメリカ	Main Pass Energy Hub	2018～2038年 (20年)	400	N.A.

Petronet LNG が出資する受入基地

国名	基地名	出資者	受入能力 (万トン/年)	受入開始
インド	Dahej	Petronet LNG	1,000	2004年
	<Phase2 Expansion>		500	2016年
	<Phase3 Expansion>		250	2019年
	Kochi	Petronet LNG	500	2013年
	East coast(FSRU)	BPCL 74%, Petronet 26%	500	2022年 (計画中)

(3) 今後の戦略

同社の事業戦略は、①世界規模の LNG インフラストラクチャーの構築と管理、②LNG 事業の継続的な拡大、③事業の多角化、④最高水準の企業倫理の維持の 4 点を掲げている。具体的には設備稼働率・業務効率の向上や LNG 調達先の多様化、近隣諸国での LNG ビジネス機会の発掘や都市ガスの供給事業、Small Scale LNG の展開などが挙げられている。また、新規事業としてスリランカ、バングラデシュ、アンダマン・ニコバル諸島、モーリシャスにて FSRU の LNG 受入基地への取組も検討している。

インドでは、同社が保有する 2 ヶ所の受入基地 (Dahej、Kochi) の他、Dabhol、Hazira、Ennore、Mundra の計 6 ヶ所の受入基地が操業している。6 ヶ所の受入基地で調達する LNG 受入能力は合計年間 4,250 万トンであるが、発電・肥料等の分野で旺盛なエネルギー需要を背景に LNG 輸入は拡大する見通しであるため、ボトルネックとなっているインフラストラクチャーの整備を図りつつ、受入基地の拡張工事や増設計画を進めていく方針である。また、同社は国内に大型トラックを含む自動車用や船舶用の LNG 充填所の事業展開を検討しており、既に Dahej 基地、Kochi 基地にはインド初となる LNG 充填所を設置している。